



阿武隈川

河川の決壊(阿武隈川:矢吹町)



大久川

道路の洗掘(県道折木筒木原久之浜線:いわき市)

令和元年東日本台風関連 災害復旧、防災・減災対策



社川

河川の応急復旧(社川:白河市)



伊南川

道路の応急復旧(国道289号:只見町)



伊南川

河川の復旧(伊南川:南会津町)



道路の復旧(国道349号:伊達市)

2021年度版

福島県土木部

目次

令和元年東日本台風の気象状況

| | |
|-------------------------------------|-------|
| 令和元年東日本台風の概要 (参考)福島県を北上する阿武隈川の特徴 | P.2~4 |
| ダムによる洪水調節の状況 | P.5~6 |

被害状況

| | |
|----------------------|--------|
| 福島県内の被害状況 | P.7 |
| 土木施設の被害状況 | P.7~8 |
| 主な被災箇所(河川、道路、砂防、下水道) | P.9~12 |

公共土木施設等災害査定

P.13

公共土木施設等復旧状況

| | |
|--------------------------|---------|
| 公共土木施設等復旧状況 | P.14 |
| 主な復旧箇所 | P.15~16 |
| 国直轄権限代行による国道の復旧(国道289号) | P.17~18 |
| 県北浄化センター施設復旧と水質改善の取組について | P.19~20 |

福島県緊急水災害対策プロジェクト

P.21~44

阿武隈川緊急治水対策プロジェクト

P.45~46

流域治水の取組

P.47~50

市町村への支援

P.51~52

建設業等関連団体との連携

P.53~54

地域住民への見える化・見せる化の取組

P.55~56

自治法派遣職員

P.57~58

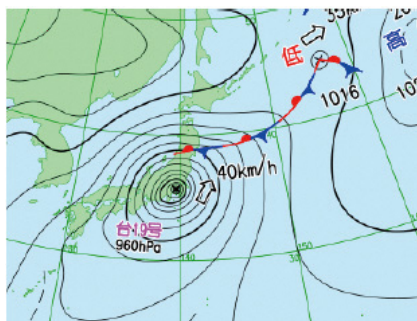
※初動対応と応急復旧の情報は、2020年度版をご覧ください。

令和元年東日本台風の気象状況

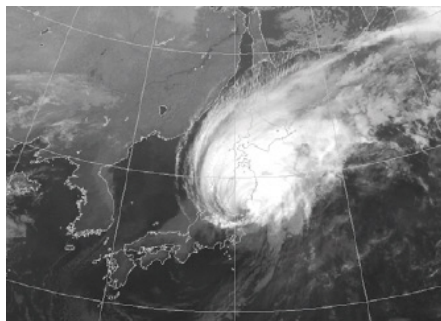
令和元年東日本台風(台風第19号)の概要

福島県では、10月11日から前線の影響で雨が降り出し、12日には令和元年台風19号の接近により昼過ぎから激しい雨が降り、特に台風の接近・通過に伴い、12日夕方から13日未明にかけては非常に激しい雨となり、局地的には猛烈な雨となった。11日15時から13日6時までの総雨量は、**福島県の広い範囲で200mm以上の大雨**となり、川内445.5mm、福島市鷲倉382.5mm、白河373.0mmと**10月1か月の平年値の2~3倍の雨量**となった。

この台風による大雨や暴風により、人的被害や、阿武隈川などの決壊による住家の床・床下浸水、土砂崩れによる住家の全壊が発生するなど、甚大な被害となった。



天気図(10月12日21時頃) (出典:気象庁HP)



気象衛星画像(10月13日1時頃) (出典:気象庁HP)

大雨特別警報発令市町村



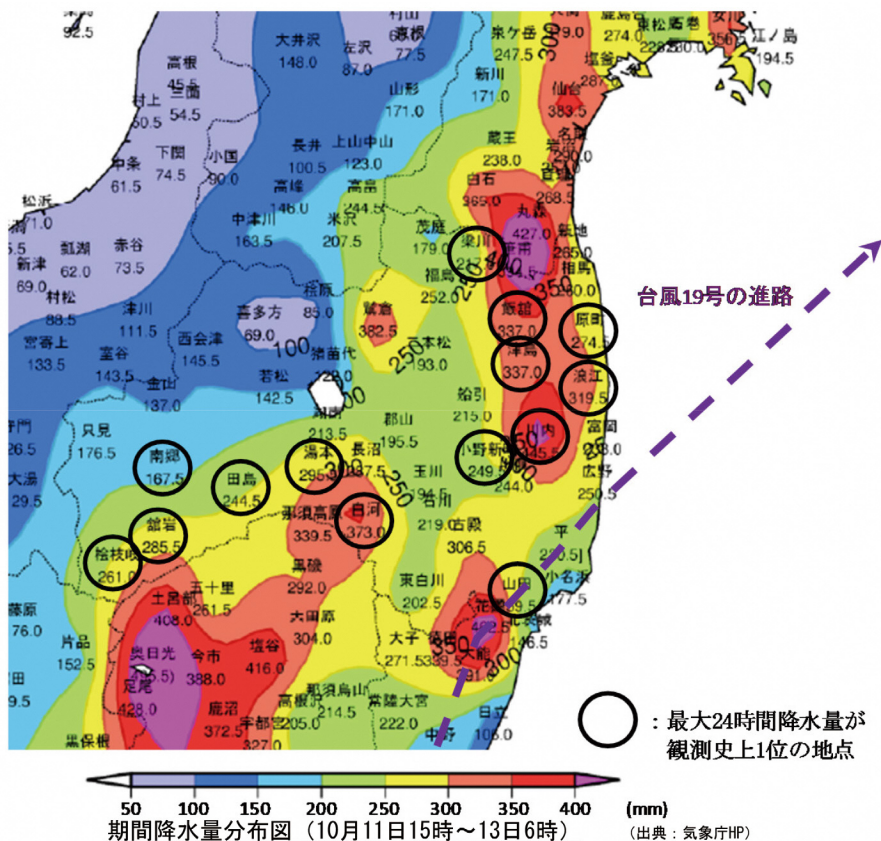
中通り地方：矢祭町を除く28市町村

浜通り地方：13市町村全て

会津地方：会津若松市、柳津町、三島町、金山町、会津美里町、下郷町、南会津町、只見町、檜枝岐村の9市町村

計：県内59市町村中50市町村で発令

令和元年東日本台風の気象状況



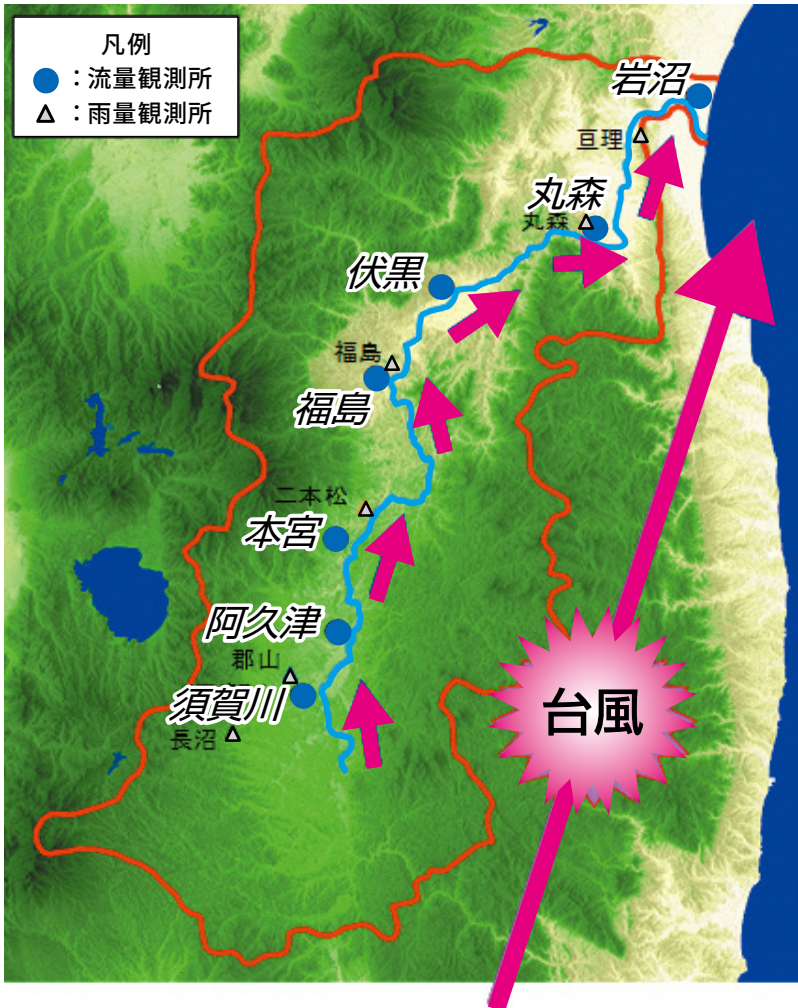
最大24時間降水量 (観測史上1位) (10月12～13日)

| 観測地点名 | 市町村 | 降水量(mm) | 統計開始年 |
|-------|------|---------|-------|
| 川内 | 川内村 | 441.0 | 1976年 |
| 白河 | 白河市 | 371.0 | 1964年 |
| 津島 | 浪江町 | 332.0 | 1977年 |
| 飯舘 | 飯舘村 | 331.5 | 1976年 |
| 浪江 | 浪江町 | 314.5 | 1976年 |
| 湯本 | 天栄村 | 293.0 | 1988年 |
| 館岩 | 南会津町 | 279.0 | 1978年 |
| 原町 | 南相馬市 | 271.0 | 1976年 |
| 檜枝岐 | 檜枝岐村 | 257.5 | 1978年 |
| 山田 | いわき市 | 257.0 | 2009年 |
| 小野新町 | 小野町 | 247.0 | 1976年 |
| 田島 | 南会津町 | 239.5 | 1976年 |
| 梁川 | 伊達市 | 213.5 | 1976年 |
| 南郷 | 南会津町 | 164.5 | 1976年 |

※県内40地点のうち14地点で観測

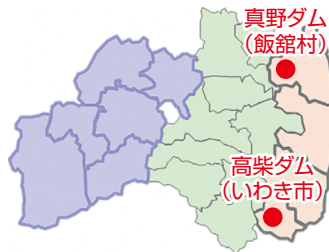
【参考】福島県を北上する阿武隈川の特徴

- ・阿武隈川は南から北へ流下しており、洪水の流下方向と台風の進路が一致しやすいため、台風性降雨の場合には洪水流出量が増大する傾向がある。
- ・台風の進路と洪水の流下方向が重なることで上流部から下流部までの最大流量がほぼ同時期に発生し、広範囲にわたる被害が一時期に集中する傾向がある。



出典：国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所2020業務概要P8

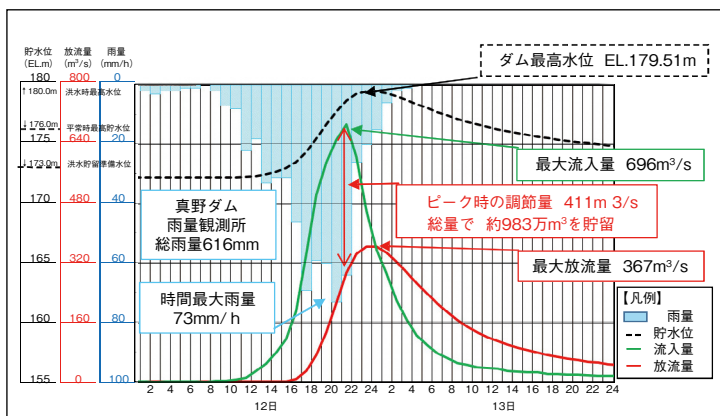
ダムによる 洪水調節の状況



令和元年東日本台風の大雨による出水について、県管理ダム施設の洪水調節により、下流域の洪水被害が軽減されました。

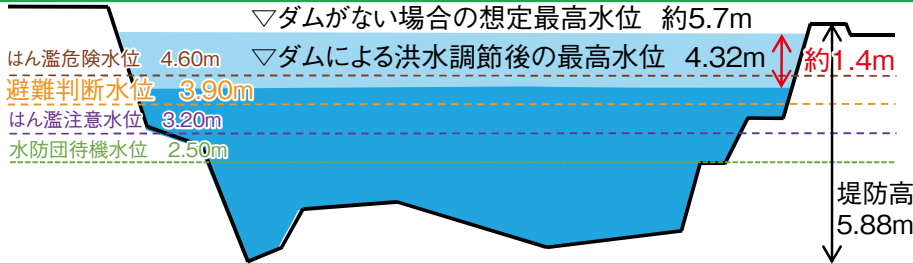
二級河川真野川水系真野川 真野ダムの洪水調節

- 真野ダム(相馬郡飯舘村)において、10月13日まで616mmの雨が降り、最大流入量 $696\text{m}^3/\text{s}$ 、最大放流 $367\text{m}^3/\text{s}$ に達しました。総雨量、最大流入量及び最大放流量ともに、平成4年度からのダム管理開始以降最大を記録しました。
- 洪水調節を行ったことで、下流の小島田堰水位観測所(南相馬市)では、平成4年度からのダム管理開始以降最高の河川水位 4.32m を観測しましたが、ダムがないときの最高水位は約 5.7m と想定され、**水位を最大で約 1.4m 低下**させることができました。



真野ダム洪水調節および降雨の状況

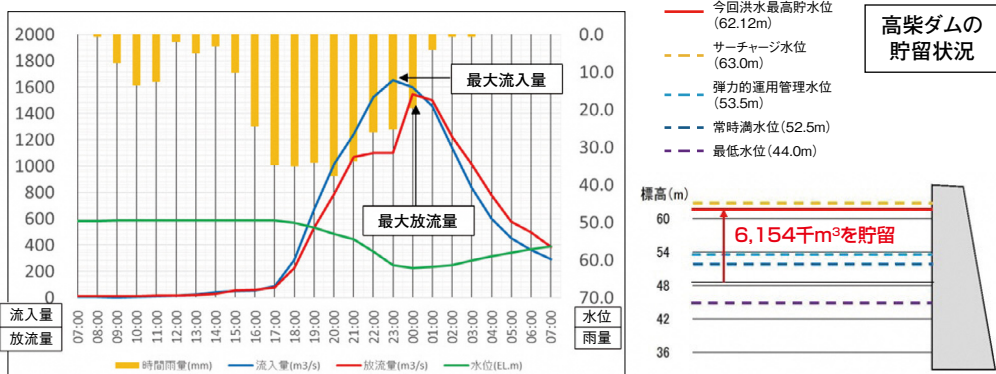
ダムがない場合、河川水位が最高で約5.7m(約1.4m上昇)となり、「はん濫危険水位」を超過、さらに堤防高まで約0.2mまで達したと想定されます。



河川断面図(小島田堰水位観測所付近)

二級河川鮫川水系鮫川 高柴ダムの洪水調節

- 高柴ダム(いわき市)において、令和元年東日本台風により10月13日まで320mmの雨が降り、最大1,711m³/sの流入量がありました。しかし、ダムに水を貯め最大放流量を1,660m³/sにすることにより、下流の洪水被害を防ぐことができました。
- ダムに貯まった水は、**6,154千m³**、**東京ドーム約5杯分**にもなりました。



高柴ダム洪水調節および降雨の状況



福島県内の被害状況

■被害状況(福島県災害対策課調べ令和3年3月9日現在)

| ●人的被害 | |
|-------|-------|
| 死者 | : 38人 |
| 行方不明者 | : 0人 |
| 重傷者 | : 1人 |
| 軽傷者 | : 58人 |

| ●住宅被害 | |
|-------|-----------|
| 床上浸水 | : 1,022棟 |
| 床下浸水 | : 432棟 |
| 全壊 | : 1,434棟 |
| 半壊 | : 12,010棟 |
| 一部損壊 | : 7,005棟 |

土木施設の被害状況

■土木部所管施設の被害状況(福島県土木部調べ令和3年3月9日現在)

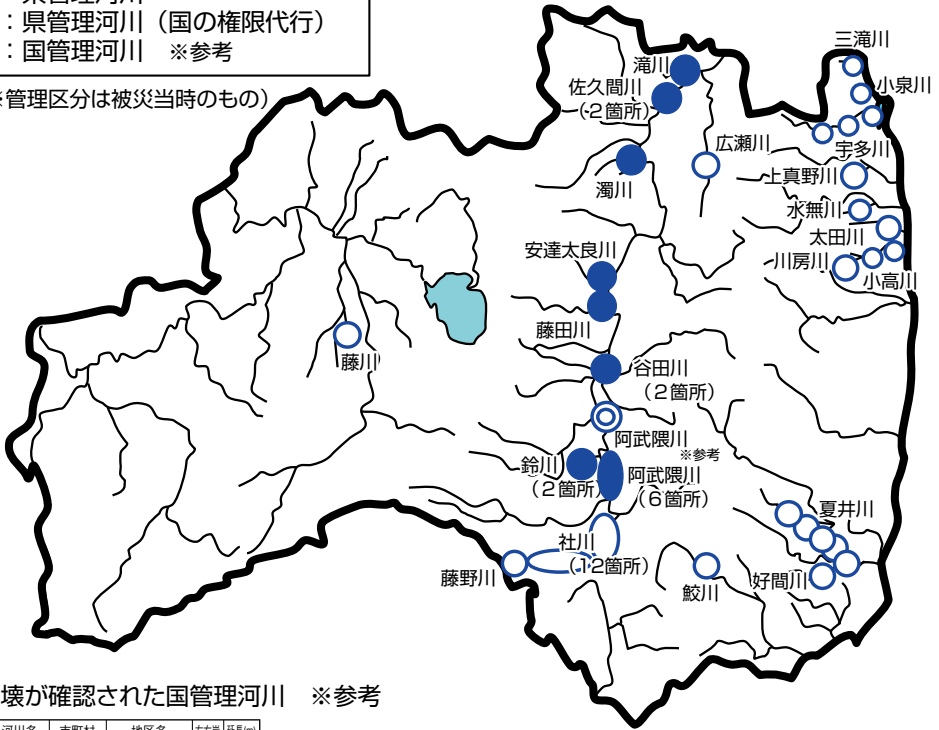
| |
|---|
| ●県管理道路 |
| 通行止めが最大で378箇所発生、364箇所解除済み。(規制継続 14箇所) |
| ●県管理河川 |
| 破堤箇所 49箇所(23河川 17市町村) |
| 内、県対応 33箇所(15河川 10市町村) : 応急対策完了(R2.11.7) |
| 国直轄権限代行対応 16箇所(8河川 8市町村) : 応急対策完了(R2.11.21) |
| ●土砂災害 |
| 土砂崩れ発生箇所 152件(21市町村) |
| ●港湾・漁港施設 |
| 港湾: 被災箇所 4箇所(2港湾) 4箇所復旧完了 |
| 漁港: 被災箇所 13箇所(3漁港) 4箇所復旧完了 |
| ●下水道施設 |
| 県北浄化センター(国見町) 水没のため機能不全状態 → 応急処理にて対応中(詳細はP19,20) |
| ●県営住宅 |
| 床上浸水 5団地144戸、床下浸水 3団地 : 復旧完了 |

令和元年東日本台風による県管理河川堤防の決壊箇所

(全49箇所)

- ：県管理河川
- ：県管理河川（国の権限代行）
- ◎：国管理河川 ※参考

(※管理区分は被災当時のもの)



決壊が確認された国管理河川 ※参考

| No. | 河川名 | 市町村 | 地区名 | 左右岸 | 延長(m) |
|-----|------|------|-----|-----|-------|
| 1 | 阿武隈川 | 須賀川市 | 浜尾 | 左岸 | 50 |

決壊が確認された河川一覧(県管理河川)

| No. | 河川名 | 市町村 | 地区名 | 左右岸 | 延長(m) |
|-----|-------|-----|--------|-----|-------|
| 1 | 濁川 | 福島市 | 郷野目 | 左岸 | 15 |
| 2 | 広瀬川 | 伊達市 | 月館町下手渡 | 左岸 | 80 |
| 3 | 滝川 | | 梁川町二野袋 | 右岸 | 62 |
| 4 | 佐久間川 | 桑折町 | 伊達崎 | 右岸 | 35 |
| 5 | | | 伊達崎 | 左岸 | 10 |
| 6 | 安達太良川 | 本宮市 | 本宮 | 左岸 | 15 |
| 7 | 谷田川 | 郡山市 | 下行合 | 右岸 | 40 |
| 8 | | | 上行合 | 左岸 | 30 |
| 9 | 藤田川 | | 日和田 | 左岸 | 50 |
| 10 | 鈴川 | 鏡石町 | 河原 | 右岸 | 34 |
| 11 | | | 河原 | 右岸 | 69 |
| 12 | 阿武隈川 | | 河原 | 左岸 | 97 |
| 13 | | | 諏訪町 | 左岸 | 100 |
| 14 | | 玉川村 | 小高 | 右岸 | 50 |
| 15 | | 矢吹町 | 陣ヶ岡 | 左岸 | 150 |
| 16 | | | 中沖 | 左岸 | 100 |
| 17 | | | 明新東 | 左岸 | 200 |

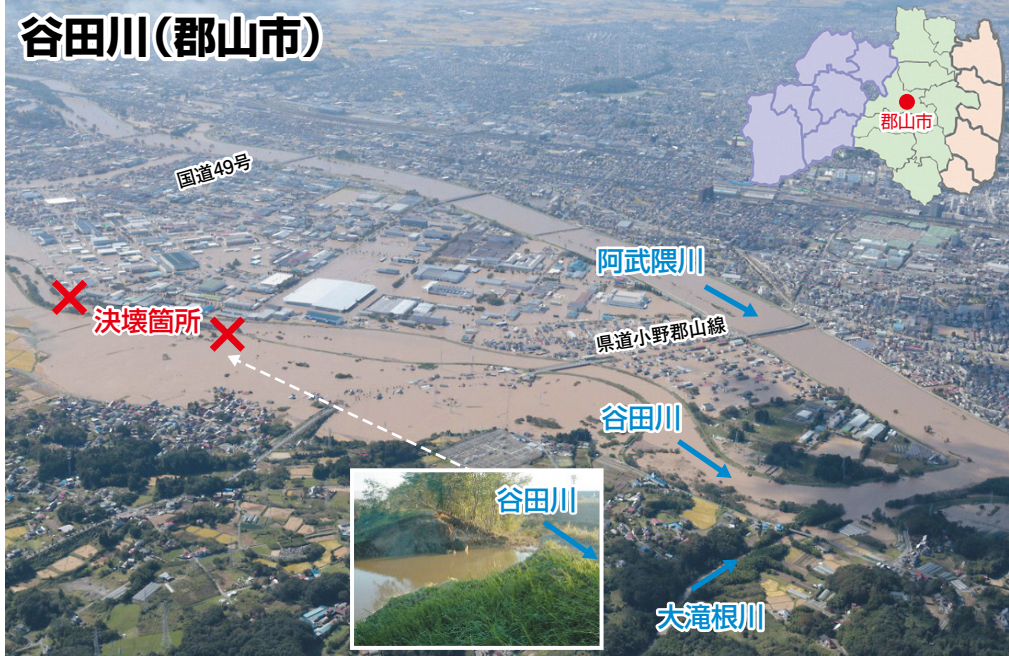
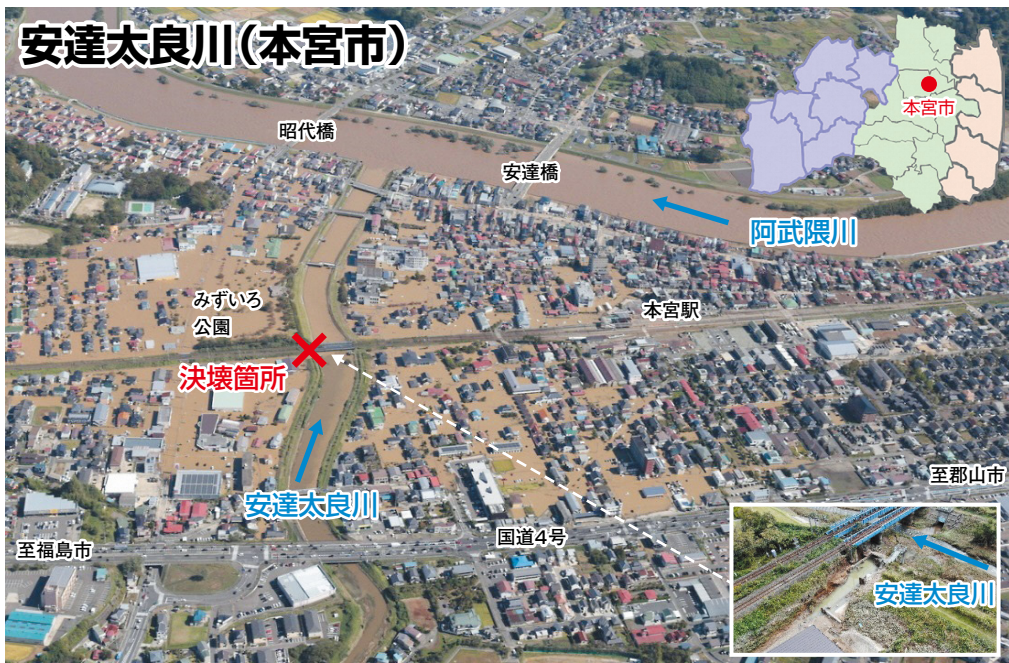
| No. | 河川名 | 市町村 | 地区名 | 左右岸 | 延長(m) |
|-----|-----|-------|-------|-----|-------|
| 18 | 藤野川 | 白河市 | 関辺 | 左岸 | 45 |
| 19 | 社川 | | 表郷堀之内 | 左岸 | 65 |
| 20 | | | 表郷中寺 | 左岸 | 10 |
| 21 | | | 表郷高木 | 右岸 | 90 |
| 22 | | | 表郷内松 | 左岸 | 120 |
| 23 | | | 表郷内松 | 左岸 | 260 |
| 24 | | 棚倉町 | 一色 | 左岸 | 125 |
| 25 | | | 一色 | 右岸 | 150 |
| 26 | | | 堤 | 左岸 | 35 |
| 27 | | 石川町 | 沢井 | 左岸 | 150 |
| 28 | | 浅川町 | 福貴作 | 右岸 | 50 |
| 29 | | | 福貴作 | 右岸 | 170 |
| 30 | | | 福貴作 | 左岸 | 330 |
| 31 | 藤川 | 会津美里町 | 橋丸 | 右岸 | 100 |
| 32 | 三滝川 | 新地町 | 福田 | 左岸 | 50 |
| 33 | 宇多川 | 相馬市 | 西山 | 右岸 | 200 |
| 34 | | | 南飯淵 | 右岸 | 100 |
| 35 | | | 北飯淵 | 左岸 | 78 |
| 36 | 小泉川 | | 和田 | 左岸 | 20 |

| No. | 河川名 | 市町村 | 地区名 | 左右岸 | 延長(m) |
|-----|------|------|-----------|-----|-------|
| 37 | 太田川 | 南相馬市 | 益田 | 左岸 | 160 |
| 38 | 川房川 | | 川房 | 左岸 | 50 |
| 39 | 小高川 | | 小堅木 | 左岸 | 150 |
| 40 | | | 金谷 | 右岸 | 30 |
| 41 | 水無川 | | 高倉 | 右岸 | 70 |
| 42 | 上真野川 | | 橋原 | 左岸 | 40 |
| 43 | 夏井川 | いわき市 | 平鏡岡 | 左岸 | 25 |
| 44 | | | 平下平窪四左工門内 | 左岸 | 25 |
| 45 | | | 小川町 | 左岸 | 70 |
| 46 | | | 平下平窪中島町 | 左岸 | 30 |
| 47 | | | 平下平窪大念仏 | 左岸 | 30 |
| 48 | 好間川 | | 好間町今新田 | 左岸 | 25 |
| 49 | 鮫川 | | 遠野町滝 | 右岸 | 300 |

決壊箇所 49箇所(23河川 17市町村)
 内、県対応 33箇所(15河川 10市町村) ○
 国直接権限代行 16箇所(8河川 8市町村) ●

主な被災箇所(河川)





主な被災箇所(道路)



主な被災箇所 (砂防・下水道)

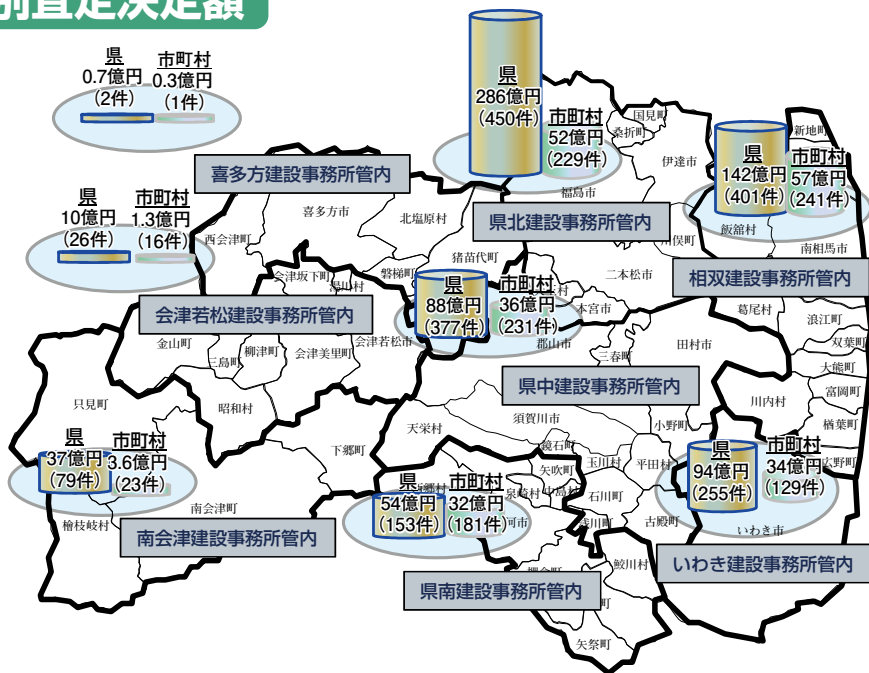


公共土木施設等 災害査定結果内訳

(令和2年2月14日現在)

| 工種 | 県 | | | 市町村 | | | 県、市町村合計 | | |
|-----------|-------|----------|--------|-------|----------|--------|---------|----------|--------|
| | 箇所数 | 金額 (百万円) | | 箇所数 | 金額 (百万円) | | 箇所数 | 金額 (百万円) | |
| 河川 | 1,411 | 50,072 | 70.4% | 473 | 8,387 | 38.8% | 1,884 | 58,459 | 63.0% |
| 海岸 | 1 | 460 | 0.6% | | | 0.0% | 1 | 460 | 0.5% |
| 砂防設備 | 28 | 680 | 1.0% | | | 0.0% | 28 | 680 | 0.7% |
| 道路 | 277 | 4,737 | 6.7% | 495 | 6,130 | 28.4% | 772 | 10,868 | 11.7% |
| 橋梁 | 1 | 117 | 0.2% | 24 | 3,781 | 17.5% | 25 | 3,898 | 4.2% |
| 港湾 | 4 | 119 | 0.2% | | | 0.0% | 4 | 119 | 0.1% |
| 漁港 | 13 | 923 | 1.3% | | | 0.0% | 13 | 923 | 1.0% |
| 下水道 | 1 | 12,688 | 17.8% | 30 | 1,972 | 9.1% | 31 | 14,660 | 15.8% |
| 都市施設(公園等) | | | 0.0% | 23 | 835 | 3.9% | 23 | 835 | 0.9% |
| 住宅 | 7 | 1,360 | 1.9% | 6 | 505 | 2.3% | 13 | 1,865 | 2.0% |
| 計 | 1,743 | 71,156 | 100.0% | 1,051 | 21,610 | 100.0% | 2,794 | 92,766 | 100.0% |

管内別査定決定額



公共土木施設等復旧状況

令和3年2月末現在進捗率



■工種別

| 工種 | 査定箇所数 | 着工箇所数 | 着工率 | 完了箇所数 | 完了率 |
|-----|-------|-------|--------|-------|--------|
| 河川 | 1,411 | 1,197 | 84.8% | 282 | 19.9% |
| 海岸 | 1 | 1 | 100.0% | 0 | 0.0% |
| 砂防 | 28 | 25 | 89.2% | 7 | 25.0% |
| 道路 | 277 | 257 | 92.7% | 112 | 40.4% |
| 橋梁 | 1 | 1 | 100.0% | 0 | 0.0% |
| 下水道 | 1 | 1 | 100.0% | 0 | 0.0% |
| 港湾 | 4 | 4 | 100.0% | 4 | 100.0% |
| 漁港 | 13 | 13 | 100.0% | 4 | 30.7% |
| 住宅 | 7 | 7 | 100.0% | 7 | 100.0% |
| 合計 | 1,743 | 1,506 | 86.4% | 416 | 23.8% |

■方部別

| 方部 | 査定箇所数 | 着工箇所数 | 着工率 | 完了箇所数 | 完了率 |
|------|-------|-------|--------|-------|--------|
| 県北 | 450 | 384 | 85.3% | 54 | 12.0% |
| 県中 | 377 | 312 | 82.7% | 89 | 23.6% |
| 県南 | 153 | 137 | 89.5% | 37 | 24.1% |
| 会津若松 | 26 | 26 | 100.0% | 12 | 46.1% |
| 喜多方 | 2 | 2 | 100.0% | 2 | 100.0% |
| 南会津 | 79 | 72 | 91.1% | 23 | 29.1% |
| 相双 | 401 | 353 | 88.0% | 137 | 34.1% |
| いわき | 255 | 214 | 83.9% | 62 | 24.3% |
| 合計 | 1,743 | 1,500 | 86.0% | 416 | 23.8% |

| | | | | | |
|---------|----|----|-------|---|-------|
| 内帰還困難区域 | 33 | 28 | 84.8% | 9 | 27.2% |
|---------|----|----|-------|---|-------|

最新の進捗状況は下記HPで確認できます。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025a/saigaiufukkyu-19.html>



主な復旧箇所(1)



主な復旧箇所(2)

復旧前



復旧前

至荻野駅



復旧前



復旧前



国直轄権限代行による 国道の復旧(国道289号)

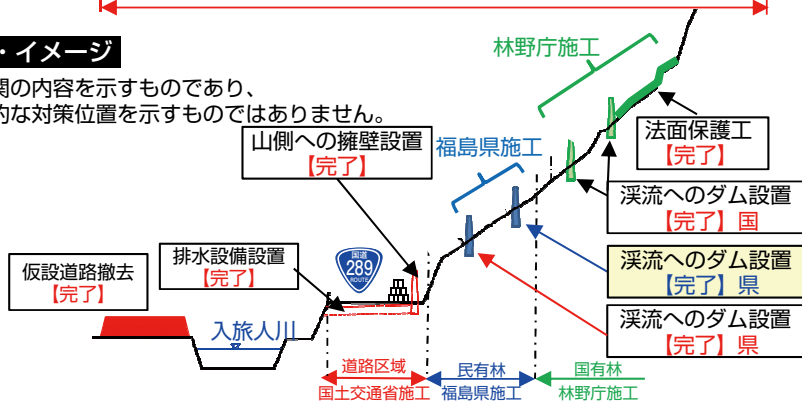
土砂崩落により通行止めとなった県管理の国道289号(いわき市田人町)について、土砂撤去・大型土のうの設置など緊急自動車等の交通の確保、仮設道路の設置による一般車両の交通確保及び、待受擁壁の設置等による本復旧について、国が直轄権限代行により実施し、令和3年3月31日に完了しました。



【国土交通省】 国道289号本線への交通切替(令和3年2月)

■復旧状況・イメージ

※各機関の内容を示すものであり、
具体的な対策位置を示すものではありません。





【林野庁】
崩壊地の山地災害復旧工事
溪流へのダム設置【完了】

【福島県】
崩壊地の山地災害復旧工事
溪流へのダム設置【完了】

【福島県】
崩壊地の山地災害復旧工事
溪流へのダム設置【完了】

【国土交通省】
排水設備設置
【完了】

【国土交通省】
山側への擁壁設置
【完了】



・延長 約800m
・箇所 いわき市 田人町旅人
～南大平

| | |
|------------|-------------------------|
| 令和元年10月25日 | 福島県から国へ要望 |
| 令和元年10月29日 | 国直轄権限代行の実施決定及び着手 |
| 令和元年12月20日 | 緊急車両の通行を開始 |
| 令和2年3月31日 | 一般車両の通行を開始 |
| 令和2年4月～ | 崩壊地の山地災害復旧工事着手【林野庁・福島県】 |
| | 溪流へのダム設置、法面保護工事 |
| 令和3年2月8日 | 本線へ交通切替 |
| 令和3年3月31日 | 国直轄権限代行事業完了 |

①被災直後の状況



②現在の状況



③排水工施工完了



④擁壁工施工完了



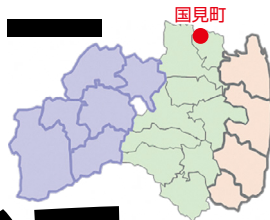
⑤ダム施工完了【県施工】



⑥ダム施工完了【国施工】



県北浄化センター 施設復旧と水質 改善の取組について

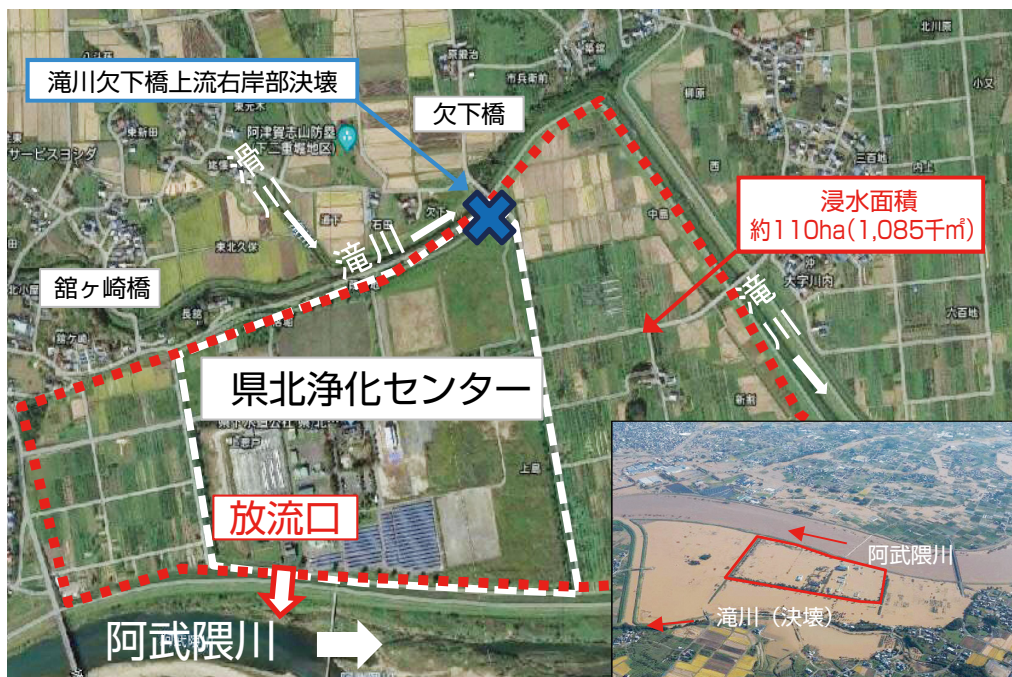


被災概要と施設復旧に係る取組

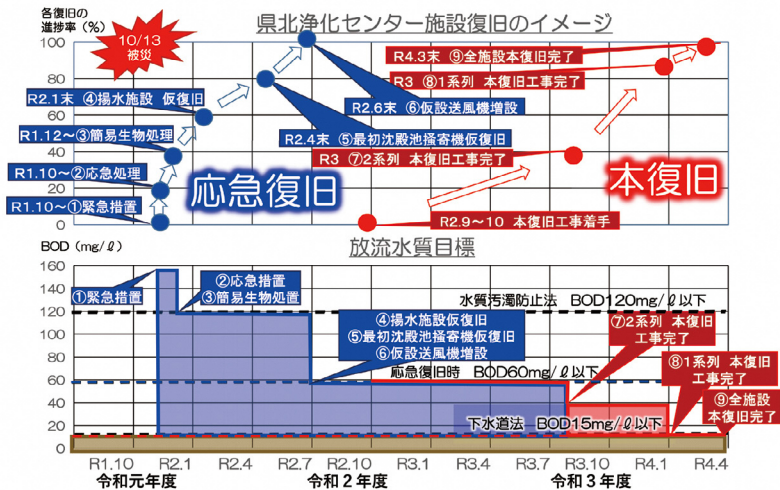
- 【被災概要】**
- ・ 滝川決壊で処理場全体が約4.8m浸水
 - ・ 浸水により一階、地下部が全て水没し、機械、電気設備が被災



- 【施設復旧の取組】** 被災から概ね2年での処理施設復旧が目標
- R2年 9～10月 機械・電気設備など下水処理に係る本復旧工事に着手(14件)
 - R2年 10～12月 土木・建築施設など全ての本復旧工事に着手(5件)



応急復旧と本復旧の水質改善の効果



塩素消毒による【緊急措置】
令和元年10月15日~



【応急処理(沈殿+塩素消毒)】
令和元年10月25日~



【簡易生物処理】
令和元年12月9日~



汚泥掻奇機を仮復旧(R2.1~4)



福島県緊急水災害対策プロジェクト

令和元年東日本台風等による災害を踏まえ、頻発化・激甚化する水災害への対応として、総合的な防災・減災対策の強化を目的に、令和6年度までに県が集中的に推進する取組を公表しました。

福島県緊急水災害対策プロジェクトの概要について

福島県緊急水災害対策プロジェクト

令和元年東日本台風等による災害を踏まえ、頻発化・激甚化する水災害への対応として、総合的な防災・減災対策の強化を目的に、令和6年度までに県が集中的に推進する取組
 予算規模：令和2年2月補正 約250億円、令和2年度当初 約460億円

【ハード対策】

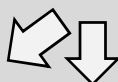
- 1 改良復旧事業及び災害復旧事業の推進 ★
 - 台風19号による被災箇所での速やかな復旧と改良復旧事業を速やかに実施します。
- 2 河川の河道掘削及び伐木の推進 ★
 - 河川の河道掘削及び伐木を速やかに実施します。
- 3 河川改修及び堤防強化の推進 ★
 - 河川改修及び堤防強化を速やかに実施します。
- 4 土砂災害の推進 ★
 - 砂防・地すべり・急傾斜事業を速やかに実施します。

【ソフト対策】

- 5 危機管理型水位計の設置拡大 ★
 - 危機管理型水位計の新規設置を進めます。
- 6 河川監視カメラの設置拡大 ★
 - 河川監視カメラの新規設置を進めます。
- 7 洪水浸水想定区域の公表の前倒し・拡大 ★
 - 水位周知河川及び洪水予報河川について、想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域の公表の前倒しと拡大を図ります。
- 8 福島県河川流域総合情報システムのサーバー強化 ★
 - アクセス集中時にも遅延無く表示ができるよう、システムを見直します。
- 9 ダムにおける事前放流に向けた体制構築 ★
 - ダムにおいて事前放流が実施できるよう、調整を進めます。
- 10 土砂災害警戒区域等の指定の推進
 - 住民の早期避難行動に繋がるよう、区域指定を推進します。



水災害対策協議会で抽出された課題 (★)



関係機関で検討が必要な項目 ★

- ・情報伝達方針見直し
- ・住民の防災意識改革
- ・住民への情報提供
- ・ハザードマップ見直し
- ・排水ポンプ車早期配備
- ・広域避難検討
- ・台風想定避難訓練
- ・水防資機材の確保



最新の進捗状況は下記HPで確認できます。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41045a/mizusaigai-0.html>

国・市町村

情報共有

国・市町村・気象台消防等による取組

連携

1 改良復旧事業及び災害復旧事業の推進

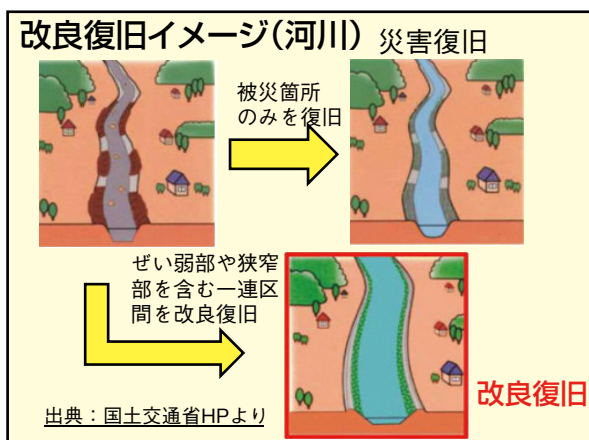
①改良復旧事業

事業箇所：8河川 9箇所

事業期間：令和元年度～3年(災害関連事業)

(予定) 令和元年度～5年(災害復旧助成事業)

計画概要：令和元年東日本台風により甚大な被害を受けた、いわき市の夏井川などにおいて、災害復旧とあわせて河川改良を行い、再度災害防止を図ります。



<参考>

○災害関連事業(関連)

被災箇所あるいは未被災箇所を含む一連の施設について、災害復旧事業費に関連費(改良費)を加えて実施する改良事業

改良費が6億円以下のもの

○災害復旧助成事業(助成)

河川の災害が激甚であって、災害復旧工事のみでは十分な効果を期待できない場合において、災害復旧事業費に助成費(改良費)を加えて一定計画の下に施工する改良事業

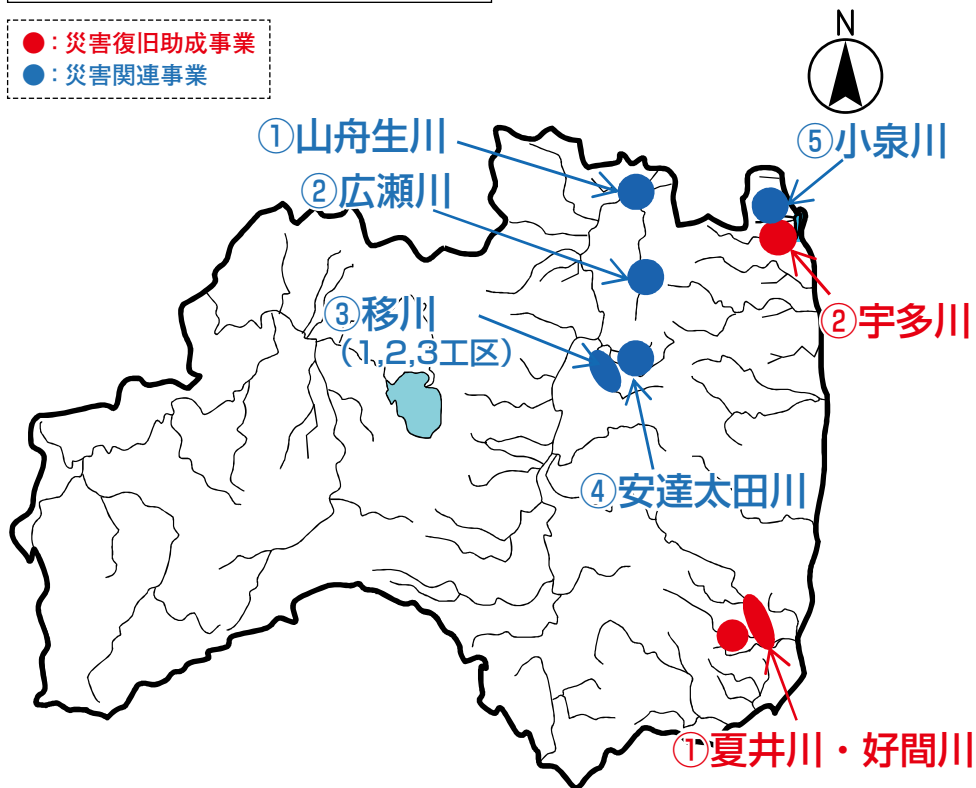
改良費が6億円を超えるもの

| 事業名 | 河川名 | 箇所 | 延長 (m) | 全体事業費※ (百万円) |
|--------------|----------------|------|--------|-----------------|
| 災害復旧 助成事業 | ①夏井川・好間川 | いわき市 | 21,500 | 30,461 |
| | ②宇多川 | 相馬市 | 5,355 | 6,137 |
| 災害関連 事業 | ①山舟生川 | 伊達市 | 1,885 | 830 |
| | ②広瀬川 | 川俣町 | 620 | 550 |
| | ③移川 (1,2,3 工区) | 二本松市 | 2,179 | 2,270 |
| | ④安達太田川 | 二本松市 | 2,340 | 1,145 |
| | ⑤小泉川 | 相馬市 | 473 | 440 |
| 事業費計 | | | | 41,833 |

※助成・関連事業費のほか、現地の被災状況等を踏まえた堤防の強化や橋梁の架け替え工事費を加えています。

改良復旧事業 河川位置図

- : 災害復旧助成事業
- : 災害関連事業

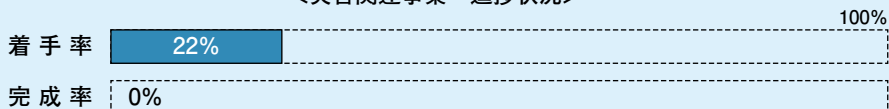


(令和2年12月末現在)

<災害復旧助成事業 進捗状況>



<災害関連事業 進捗状況>



注)着手率=契約額/全体事業費×100%、完成率=完成延長/全体計画延長×100%

②災害復旧事業

(令和3年2月28日現在)

| 決定額 (億円) | 全体箇所数 | 着手済み箇所数 | 完了箇所数 |
|-------------|-------|---------|-------|
| 501 | 1,411 | 1,197 | 282 |

※ 工種別、方部別の情報は、P14で確認できます。

※ 最新の進捗状況は下記HPから確認できます。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025a/saigaifukkyu-19.html>



【災害関連事業の実施状況】



福島県緊急水災害対策プロジェクト

■主な事業箇所：夏井川災害復旧助成事業

【事業内容】

- 河川名 : 二級河川夏井川水系夏井川及び支川好間川
- 事業箇所 : 福島県いわき市平塩地内外
- 事業延長 : L=21.5km (夏井川L=14.9km、好間川L=6.6km)
- 事業期間 : 令和元年度～令和5年度(予定)
- 全体事業費 : 約305億円(助成事業とあわせた県事業を含む)
- 事業概要 : 河道掘削工、築堤工、護岸工、橋梁工 等

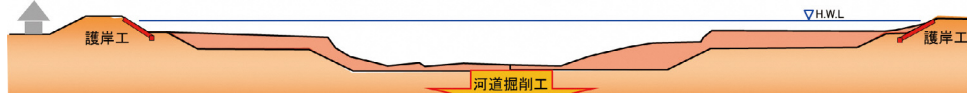
【平面図】



【被災状況写真】



【横断図(イメージ)】



【実施状況】

復旧前



復旧前



復旧前



福島県緊急水災害対策プロジェクト

■主な事業箇所：宇多川災害復旧助成事業

【事業内容】

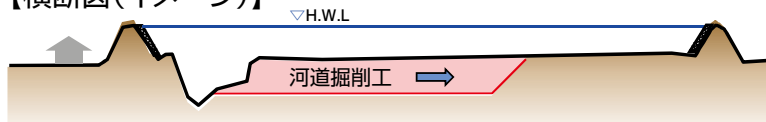
- 河川名 : 二級河川宇多川水系宇多川
- 事業箇所 : 福島県相馬市北飯淵地内外
- 事業延長 : L=5,355m
- 事業期間 : 令和元年度～令和5年度(予定)
- 全体事業費 : 約61.4億円
(助成事業とあわせた県事業を含む)
- 事業概要 : 河道掘削工、護岸工、堰 等



【平面図】



【横断図(イメージ)】



【被災状況写真】



【実施状況】



2 河川の河道掘削及び伐木の推進

河道断面を拡大する「河道掘削」と流木被害解消を目的とした伐木を推進します。

事業後の維持管理費用の削減にも効果があります。

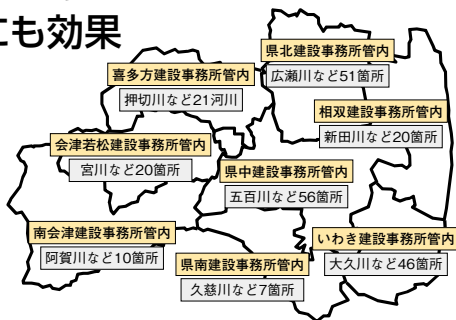
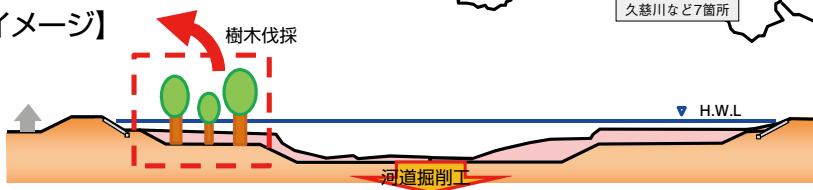
【事業内容】

事業箇所：社川(棚倉町)など231箇所

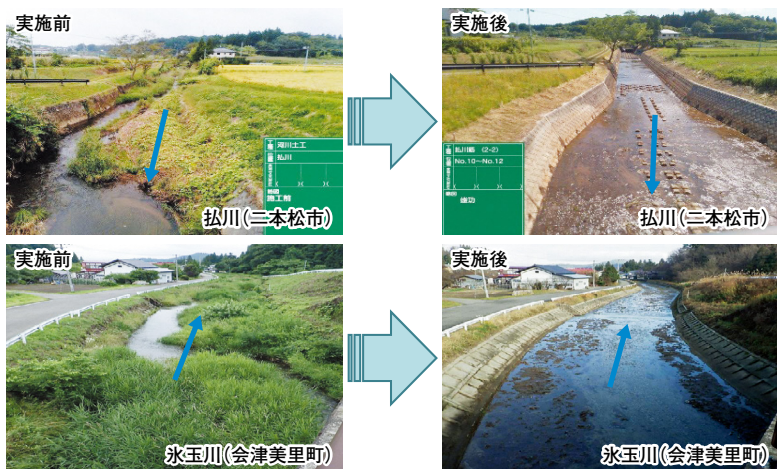
事業期間：令和2年度～令和6年度

事業概要：河道掘削、伐木

【事業のイメージ】



【実施状況】



(令和2年12月末現在)

| 全体箇所数 | 着手済み箇所数 | 完了箇所数 |
|-------|---------|-------|
| 231 | 221 | 49 |

3-1 河川改修の推進

①浸水対策重点地域緊急事業(1)

■小泉川水系小泉川

【事業内容】

河川名 : 二級河川小泉川水系小泉川

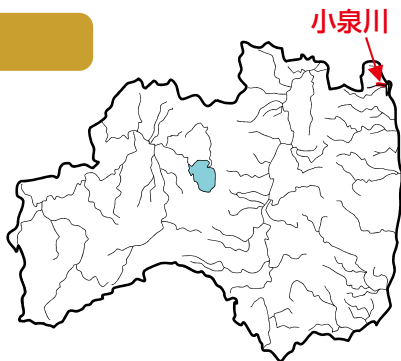
事業箇所 : 相馬市

事業延長 : L=3,350m

事業期間 : 令和2年度～令和6年度(予定)

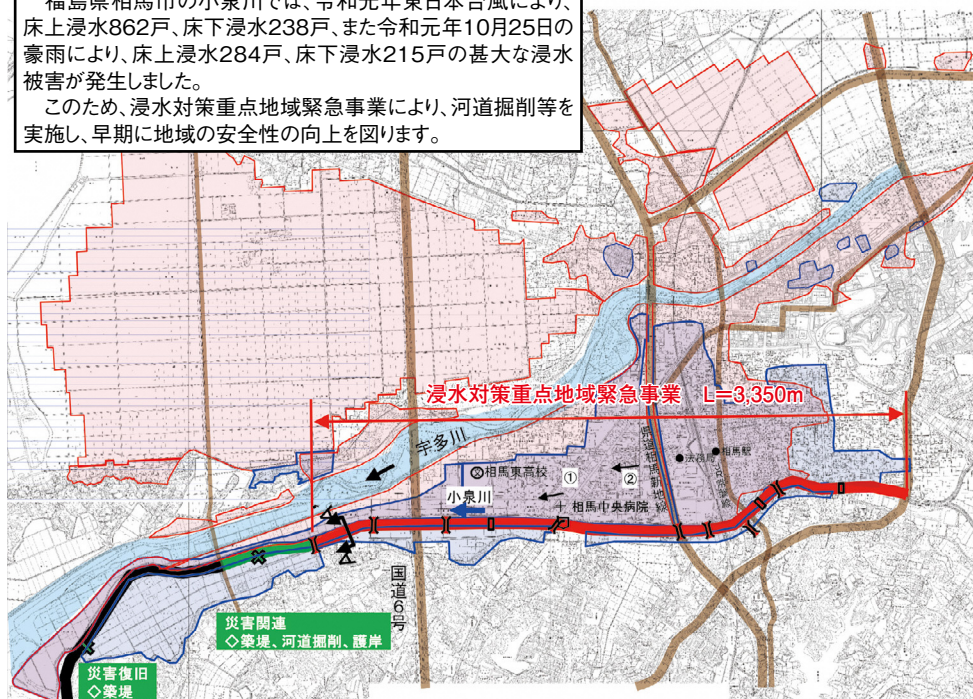
全体事業費 : 約60億円

事業概要 : 河道掘削工、築堤工、護岸工、橋梁工、堰、用地補償等



福島県相馬市の小泉川では、令和元年東日本台風により、床上浸水862戸、床下浸水238戸、また令和元年10月25日の豪雨により、床上浸水284戸、床下浸水215戸の甚大な浸水被害が発生しました。

このため、浸水対策重点地域緊急事業により、河道掘削等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。



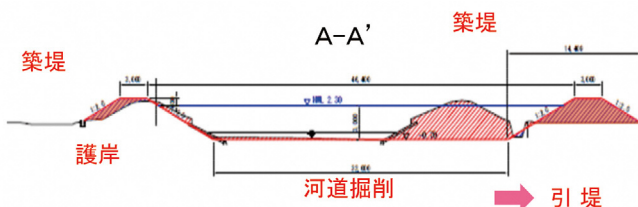
- 令和元年東日本台風による浸水区域
- 令和元年10月25日豪雨による浸水区域
- 被災箇所
- 橋りょう
- 堰

①浸水対策重点地域緊急事業(2)

【事業のイメージ】



【事業実施のイメージ】



【現況写真】



※ 流下能力を確保するため、河道掘削は別事業で実施
 ※ 浸水対策重点地域緊急事業により、引き続き改修を進める

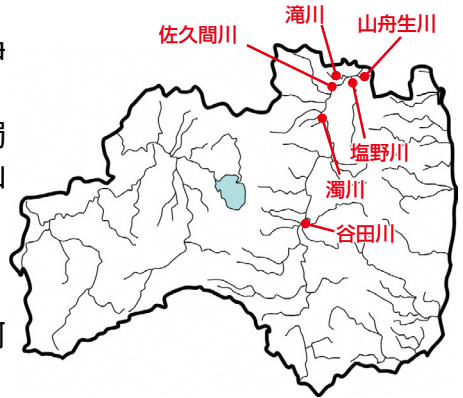
②新規着手事業の推進

甚大な被害を受けた6河川については、令和2年度から新たに*個別補助事業等を進めています。

*個別補助事業とは、計画的・集中的な対策を実施することで、早期の治水安全度の向上を図るもの。

【事業内容】

- 河川名 : 阿武隈川水系 塩野川(伊達市)、佐久間川(桑折町)、滝川(国見町・伊達市)、濁川(福島市)、谷田川(郡山市)、山舟生川(伊達市)
- 事業期間 : 令和2年度～
- 全体事業費 : 約75億円
- 事業概要 : 河道掘削、築堤等による阿武隈川本川の背水対策



【浸水状況】

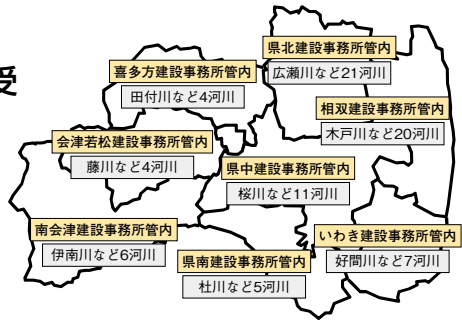


③緊急的な一定箇所の改修(1)

令和元年東日本台風による被害を受け、緊急的に一定箇所を改修します。

【事業内容】

河川名 : 安達太良川(本宮市)など
78河川
事業期間 : 令和元年度～
全体事業費 : 約131億円



【被災状況】



(令和2年12月末現在)

| 事業費(億円) | 対象河川数 | 着手済み河川数 | 完了河川数 |
|---------|-------|---------|-------|
| 131 | 78 | 75 | 0 |

③ 緊急的な一定箇所の改修(2)

【実施状況】



④ 継続河川改修事業の整備促進

これまで継続的に実施してきた河川改修事業のさらなる整備促進を図っていきます。

【事業内容】

河川名：逢瀬川(郡山市)など80河川

【実施状況】



3-2 堤防強化の推進

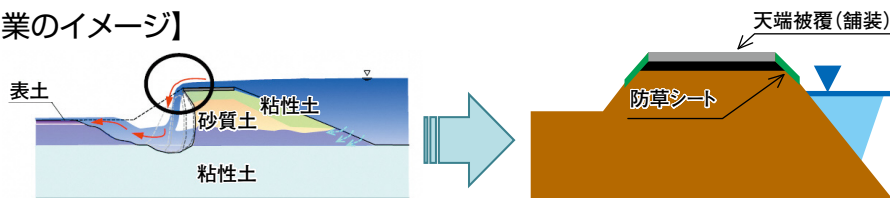
河川堤防天端を被覆(舗装)により補強します。除草必要面積の低減と利用者(歩行者や自転車)の利便性向上にも寄与します。

【事業内容】

河川名 : 東根川(伊達市)など
97河川
事業期間 : 令和2年度
~令和6年度



【事業のイメージ】



【令和2年度整備箇所写真】



(令和2年12月末現在)

| 対象河川数 | 着手済み河川数 | 完了河川数 |
|-------|---------|-------|
| 97 | 86 | 10 |

4 土砂災害対策の推進

①災害関連事業

緊急砂防等災害関連事業を緊急的に実施し、土砂災害対策を推進していきます。

緊急砂防等災害関連費 事業費：3.1億円(令和元年度年間所要額)



②土砂災害対策の推進

これまで継続してきた土砂災害対策事業のさらなる整備促進を図っていきます。



砂防堰堤等により、
下流での氾濫を防止する。



(令和2年12月末現在)

| 対象箇所数 | 着手済み箇所数 | 完了箇所数 |
|-------|---------|-------|
| 172 | 72 | 6 |

5 危機管理型水位計の設置拡大

人家や重要施設など浸水の危険が高く、的確な避難判断のための水位観測が必要な箇所に洪水時の観測に特化した危機管理型水位計を設置します。

(令和2年12月末現在)

| 設置予定箇所数 | 設置済み箇所数 |
|---------|---------|
| 373 | 356 |



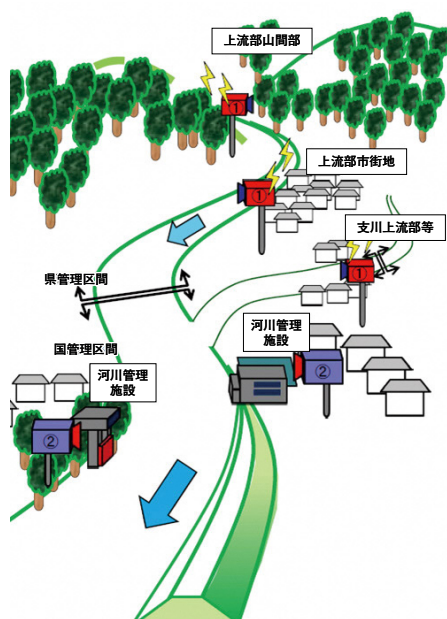
6 簡易型河川監視カメラの設置拡大

人家や重要施設など浸水の危険が高く、的確な避難判断を促すことが必要な箇所に簡易型河川監視カメラを設置します。



(令和2年12月末現在)

| 設置予定箇所数 | 設置済み箇所数 |
|---------|---------|
| 124 | 7 |



設置済みのカメラの情報は下記HPで確認できます。
「川の水位情報」 → <https://k.river.go.jp/>



7 洪水浸水想定区域の公表の前倒し・拡大

水位周知河川追加指定予定の県管理31河川について、早期作成・公表を目指します。

あわせて、浸水想定区域図作成も順次進めます。

(令和2年12月末現在)

| 洪水浸水想定区域作成予定河川数 | 作成済河川数 |
|-----------------|--------|
| 63 | 26 |

策定済みの洪水浸水想定区域図は下記HPで確認できます。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41045b/kouzuisinsou.html>

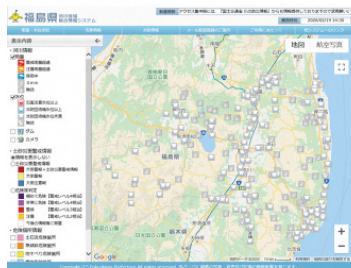


8 福島県河川流域総合情報システムのサーバー強化

令和元年東日本台風ではアクセスが集中し、アクセス性が低下したので、サーバー強化によりアクセス性を改善します。

【河川情報画面の改良(システム強化)】

河川情報と土砂災害警戒情報の表示画面を分割し、河川情報については画像による表示へ変更しました。このことにより、円滑に河川情報が表示されるようになりました。



これまでの福島県流域総合情報システム
(河川情報と土砂災害警戒情報を一つの画面に重ねて表示)



河川情報

画像表示



土砂災害警戒情報

地図情報



福島県河川流域総合情報システム
<http://kaseninf.pref.fukushima.jp/gis/>



9 ダムにおける事前放流に向けた体制構築

事前放流とは、台風や前線の影響により大雨が予測される場合、ダムの利水容量の一部を放流することでダムの水位を下げ、水害を防止するための洪水調節^(※)容量(ダムに貯められる水の量)を増やす取組です。

一級水系と二級水系のダムにおいて、下流河川の氾濫や浸水被害の軽減を図るため、事前放流等に向けた体制を構築しました。

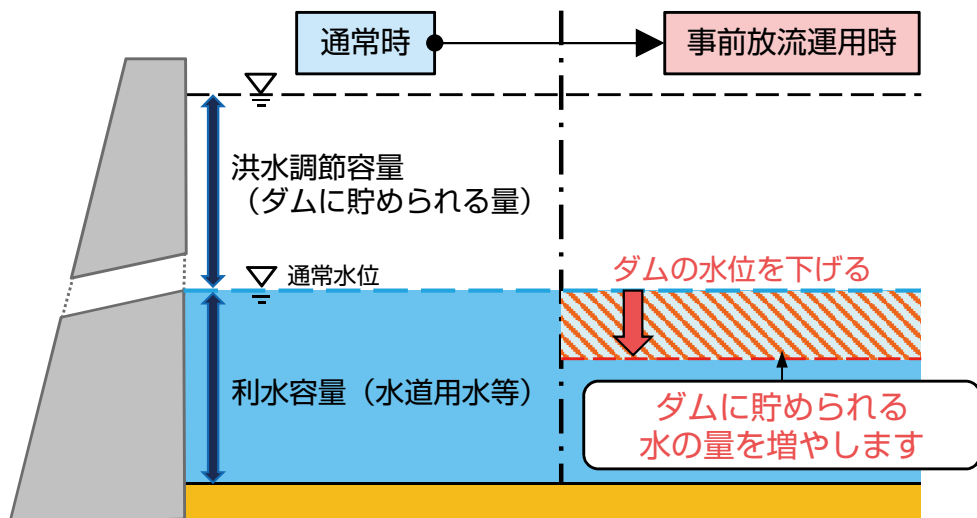
県土木部が管理する全てのダム(10ダム)で、利水者と治水協定を締結し、事前放流の運用を開始しました。

※洪水調節とは…雨が降って河川の流量が多くなった場合、ダムに流れ込んできた水の一部を溜めこみ、ダム下流に流れる水量を少なくすることです。

■福島県内の事前放流運用ダム



■事前放流のイメージ



■治水協定締結の経過(県土木部管理ダム)

○ 一級水系

令和2年5月29日 堀川ダム(阿武隈川水系)

東山ダム、日中ダム、田島ダム(阿賀野川水系)

【参考】県土木部管理以外のダム

- ・阿武隈川水系：摺上川ダム(国土交通省)など全12ダム
- ・阿賀野川水系：大川ダム(国土交通省)など全24ダム

○ 二級水系

令和2年5月26日 高柴ダム、四時ダム(鮫川水系)

令和2年8月31日 真野ダム(真野川水系)

こまちダム、小玉ダム(夏井川水系)

令和3年3月 1日 木戸ダム(木戸川水系)

【参考】県土木部管理以外のダム

- ・宇多川水系：松ヶ房ダム
- ・新田川水系：高の倉ダム、風兼ダム
- ・太田川水系：横川ダム、鉄山ダム
- ・木戸川水系：谷室沢ダム

合計9水系52ダムで
運用を開始しました！

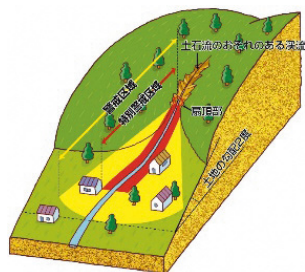
10 土砂災害警戒区域等の指定の推進

住民の早期避難行動に繋がるよう、区域指定を推進します。

土砂災害防止法に基づき、県が基礎調査を行い、土砂災害警戒区域等を指定します。

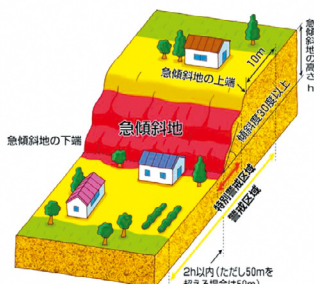
7,983箇所基礎調査の結果の公表は完了。(令和元年9月)

【土砂災害警戒区域等の模式図】



土石流

※山腹が崩壊して生じた土石等又は溪流の土石等が水と一体となって流下する自然現象



急傾斜地の崩壊

※傾斜度が30°以上である土地が崩壊する自然現象



地すべり

※土地の一部が地下水等に起因して滑る事前現象又はこれに伴って移動する自然現象

| | |
|-------|--------|
| 全体箇所数 | 指定済箇所数 |
| 7,983 | 6,761 |

(令和2年12月末現在)

■土砂災害防止法説明会(オープンハウス方式)■

地域の方等を対象にした土砂災害防止法の説明において、一部、オープンハウス方式による説明会を実施しています。

土砂災害防止法説明会(オープンハウス方式)の実績

| 開催日 | 会場 | 説明対象区域 | 説明区域数(箇所) | 対象者(人) | 参加者(人) |
|------------|---------------|---------|-----------|--------|--------|
| 平成30年9月29日 | 原町生涯学習センター | 南相馬市原町区 | 35 | 199 | 73 |
| 平成30年9月30日 | 万葉ふれあいセンター | 南相馬市鹿島区 | 21 | 209 | 42 |
| 平成31年2月23日 | 広野町公民館 | 広野町 | 15 | 109 | 28 |
| 平成31年3月2日 | 楯葉町福祉会館 | 楯葉町 | 31 | 405 | 81 |
| 平成31年3月3日 | 浮舟文化会館 | 南相馬市小高区 | 22 | 164 | 33 |
| 令和元年5月13日 | 川内村コミュニティセンター | 川内村 | 91 | 679 | 127 |

「オープンハウス方式」

- ・開催時間中、都合の良い時間に随時来場していただく。
- ・来場者毎に、担当職員が個別に説明を行う。



進捗状況総括表

「福島県緊急水災害対策プロジェクト」の進捗状況 総括表

| 事業名 | 完成目標年 | 全体数 | ※R2.9末現在 | | | | | | ※R2.12末現在 | | | | | |
|-----------------------|-------|-----------|----------|----|------|-------|------|-------|-------------------------|----|------|-------|------|-------|
| | | | 着手 | | | 完了 | | | 着手 | | | 完了 | | |
| | | | 件数 | | | 着手率 | 件数 | 完了率 | 件数 | | | 着手率 | 件数 | 完了率 |
| | | | 調査 | 用地 | 工事 | | | | 調査 | 用地 | 工事 | 着手率 | 件数 | 完了率 |
| ①改良復旧事業及び災害復旧事業の推進 | | | | | | | | | | | | | | |
| 改良復旧事業(助成) | R 5 | 3河川 | 3 | 3 | 3 | 16.2% | 0 | 0.0% | 3 | 3 | 3 | 40.2% | 0 | 0.9% |
| 改良復旧事業(関連) | R 3 | 5河川 | 5 | 5 | 3 | 17.1% | 0 | 0.0% | 5 | 5 | 4 | 22.1% | 0 | 0.0% |
| 災害復旧事業 | R 3 | 1411箇所 | — | — | 1079 | 76.4% | 32 | 2.2% | — | — | 1177 | 83.4% | 183 | 12.9% |
| ②河川の河道掘削及び伐木の推進 | | | | | | | | | | | | | | |
| 河道掘削 | R2～R6 | 231箇所(R2) | — | — | 176 | 76.1% | 18 | 7.7% | — | — | 221 | 95.6% | 49 | 21.2% |
| ③河川改修及び堤防強化の推進 | | | | | | | | | | | | | | |
| 緊急的改修 | R 2 | 78河川 | — | — | 67 | 85.8% | 0 | 0.0% | — | — | 75 | 96.1% | 0 | 0.0% |
| 一定区間改修 | R 6 | 7河川 | 7 | 7 | 1 | 8.0% | 0 | 0.0% | 7 | 7 | 2 | 11.6% | 0 | 0.0% |
| 堤防強化 | R2～R6 | 97箇所(R2) | — | — | 37 | 38.1% | 7 | 7.2% | — | — | 86 | 88.6% | 10 | 10.3% |
| ④土砂災害対策の推進 | | | | | | | | | | | | | | |
| 災害関連事業 | R 2 | 2箇所 | 2 | — | 0 | 15.3% | 0 | 0.0% | 2 | — | 1 | 75.5% | 0 | 30.7% |
| 土砂災害対策事業 | R 6 | 172箇所 | — | — | 59 | 34.3% | 1 | 0.5% | — | — | 72 | 41.8% | 6 | 3.4% |
| ⑤危機管理型水位計の設置拡大 | | | | | | | | | | | | | | |
| 水位計の設置 | R 2 | 373箇所 | — | — | — | — | 334 | 89.5% | — | — | — | — | 356 | 95.4% |
| ⑥河川監視カメラの設置拡大 | | | | | | | | | | | | | | |
| 監視カメラの設置 | R 2 | 124箇所 | — | — | — | — | 5 | 4.0% | — | — | — | — | 7 | 5.6% |
| ⑦洪水浸水想定区域の公表前倒し・拡大 | | | | | | | | | | | | | | |
| 区域公表 | R 6 | 63箇所 | — | — | — | — | 24 | 38.0% | — | — | — | — | 26 | 41.2% |
| ⑧福島県流域総合情報システムのサーバー強化 | | | | | | | | | | | | | | |
| システム強化 | R 2 | | — | | | | | | 円滑に情報が表示できるよう、河川情報画面を改良 | | | | | |
| サーバー強化 | | | — | | | | | | — | | | | | |
| ⑨ダムにおける事前放流に向けた体制構築 | | | | | | | | | | | | | | |
| 事前放流体制構築 | R2 | 10ダム | — | — | — | — | 9 | 90.0% | — | — | — | — | 9 | 90.0% |
| ⑩土砂災害計画区域の指定の推進 | | | | | | | | | | | | | | |
| 区域指定の推進 | R 3 | 7983箇所 | — | — | — | — | 6517 | 81.6% | — | — | — | — | 6761 | 84.6% |

【着手率、完了率の考え方】

- ※1 着手率=契約額/全体事業費 完了率=完成延長/全体計画延長
- ※2 着手率=契約額/全体事業費 完了率=完成額/全体事業費
- ※3 着手率=着手済箇所/全体箇所数 完了率=完了箇所数/全体箇所数
- ※4 完了率=完了箇所数/全体箇所数



水災害対策協議会の状況

①河川における治水対策の推進 【ハード整備】約1,840億円

■観測史上最高水位を更新するほどの大規模な洪水により、本川・支川で越水・溢水、堤防決壊、内水氾濫等が多数発生

→本川の水位を低下させる対策、支川における堤防強化等の治水対策を推進

<主なメニュー案>

- ・国・県管理河川の堤防決壊箇所等、被災した河川管理施設の「災害復旧」の推進
- ・現在 実施中の「堤防整備」等の早期完成
- ・「河道掘削、樹木伐採」等の推進、「河川整備計画」に位置づけられている「河川の水位を低下させる対策」等の順次検討・着手
- ・本川の背水影響が及ぶ支川等の「堤防強化」、「準用河川」の整備促進
- ・内水が顕著な河川等における「排水機能の強化及び耐水化」
- ・既存ダムの洪水調節機能強化

②減災型都市計画の展開

■沿川都市の都市化の進展により低平地の新興住宅地等での浸水リスクが顕在化

→沿川地域における住まい方、まちづくりの工夫の推進

<主なメニュー案>

- ・浸水リスクを考慮した「立地適正化計画」の展開
- ・支川や内水を考慮した「複合的なハザードマップ」の作成
- ・「特定都市河川」制度に準じた流域対策(例：雨水貯留施設等)
- ・高頻度で浸水する区域の「災害危険区域」等の指定



③地区単位・町内会単位での防災体制の構築

■本川や支川の氾濫、内水など、地区毎に異なる氾濫形態が避難行動に影響

→的確な避難行動に資するきめ細かな情報提供等の推進

<主なメニュー案>

- ・支川や内水も考慮した「タイムライン」の整備・改良
- ・浸水想定区域における「町内会版タイムライン」の策定・普及、訓練の実施
- ・危機管理型水位計の活用による「地区ごとの避難体制」の構築
- ・県管理の水位周知河川及び国管理ダム下流等の「洪水浸水想定区域」の早期公表

④バックウォーターも考慮した危機管理対策の推進

■本川上流部では、背水が支川の氾濫にも影響

→本川合流部周辺における支川の減災対策の推進

<主なメニュー案>

- ・本川の背水影響が及ぶ区間への「危機管理型水位計」及び「カメラ」の設置等
- ・本川の背水影響が及ぶ区間に設置した危機管理型水位計と連動した地区ごとの「避難計画」の策定



⑤市町村の実情に応じた減災の取り組み

→地域の特性等を踏まえた各種減災対策の推進

<主なメニュー案>

- ・流出抑制・氾濫抑制の取組、住民参加型の防災訓練、マスメディアと連携した情報発信 等

福島県における 流域治水

近年、気候変動の影響による頻発化・激甚化する水災害の対策は急務です。特に福島県では、県土の広範囲に甚大な影響を与えた令和元年東日本台風等を踏まえ、様々な主体がハード・ソフトの両面で流域全体での総合的な防災・減災対策を実施していきます。

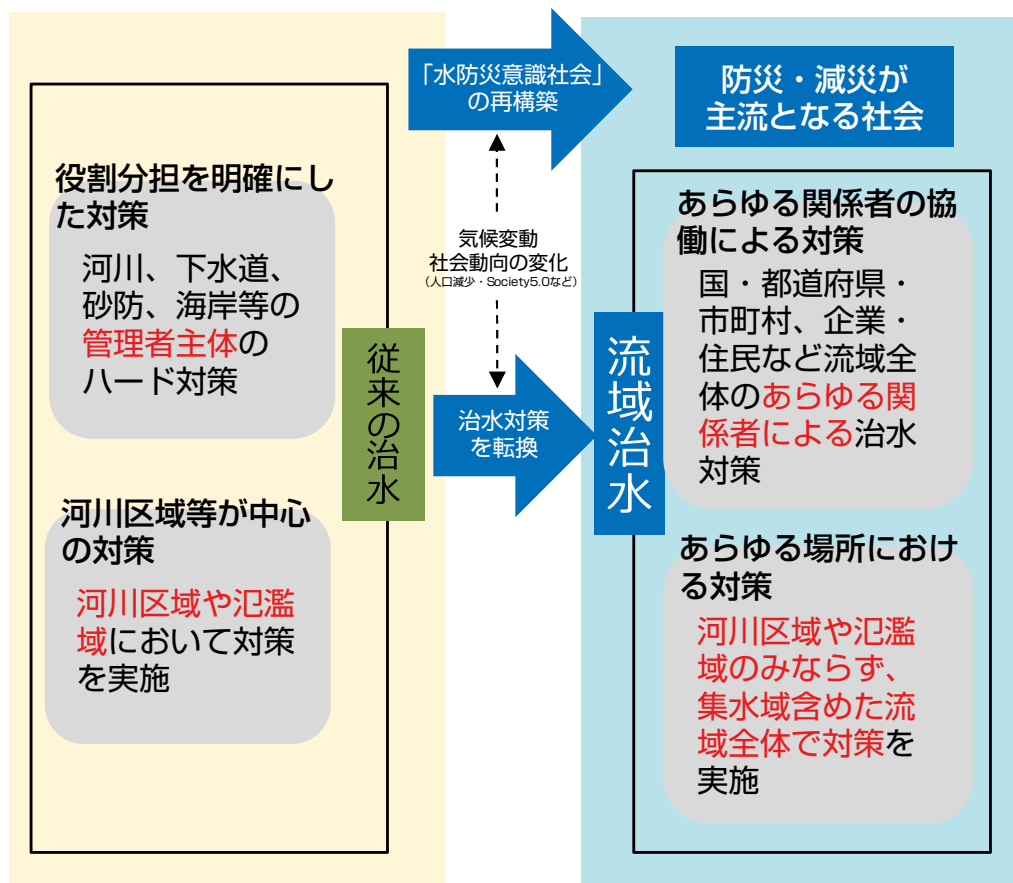
「流域治水」への転換

近年の水災害による甚大な被害を受け、施設能力を超過する洪水が発生するものへと意識を改革し、氾濫に備える「水防災意識社会」の再構築を進めてきました。

今後、この取組をさらに一歩進め、気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、あらゆる関係者が協働して流域全体で対応する「**流域治水**」へ転換していきます。

国土交通省防災・減災対策本部が設置され、**令和2年7月に【あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」への転換】**が示されました。

従来の治水から「流域治水」への転換イメージ



「気候変動を踏まえた水災害対策のあり方について答申(令和2年7月)より」



河川、下水道、砂防、海岸等の管理者が主体となって行う治水対策に加え、その流域の関係者全員が協働して、総合的かつ多層的な取組を実施する。

流域治水の施策のイメージ

「流域治水」へ転換し、関係者が地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策を多層的に推進していきます。

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○ 雨水貯留機能の拡大

- ・ 田んぼやため池等による雨水貯留

○ 流水の貯留

- ・ ダムによる洪水調節機能の強化
- ・ ダム管理設備の機能確保

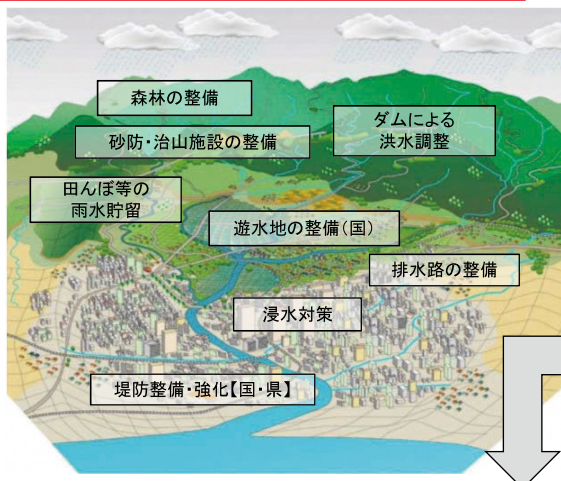
○ 氾濫範囲を減らす

- ・ 砂防・治山施設の整備

○ 氾濫水を減らす

- ・ 河川管理施設の整備等

関連事業



■ 国による「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」(P.45～46) ■

令和元年東日本台風により、阿武隈川本流や支流では堤防決壊や越水等が多発し、流域全体で甚大な浸水被害となりました。国を中心に関係機関が連携し、流域全体での総合的な防災・減災対策を実施します。

■ 県による「福島県緊急水災害対策プロジェクト」(P.21～44) ■

令和元年東日本台風等により、一級水系阿武隈川本川や支川、二級水系の河川において、堤防決壊や越水等が多発し、流域全体で甚大な浸水被害となりました。国や市町村等の関係機関と連携し、流域全体での総合的な防災・減災対策を実施します。

② 被害対象を減少させるための対策

○ リスクの低いエリアへ誘導

- ・ 水害リスクの高い地域における土地利用の規制
- ・ 水害リスクのより低い土地への居住誘導

③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○ 住まい方の工夫

- ・宅地高上げや建築物の構造の工夫

○ 被災自治体の支援体制充実

- ・市町村への人的支援
- ・災害時応援協定締結者との連携強化
- ・災害・復興ボランティア関係団体との連携強化

○ 経済被害の最小化

- ・企業の事業継続計画（BCP）策定の促進
- ・工業用水道の応急復旧体制の整備
- ・工業用水道施設の整備等
- ・農業集落排水施設の整備等

○ 氾濫水を早く排除する

- ・都市部の内水による浸水対策への支援
- ・食料生産基盤の整備
- ・農業水利施設の適正な保全管理
- ・湛水防除施設の整備等

○ 土地のリスク情報の充実

- ・洪水対策体制の整備・洪水ハザードマップの作成支援
- ・都市部の内水による浸水対策への支援

○ 避難体制の強化

- ・雨量、河川水位、土砂災害危険度予測情報等の迅速な伝達と共有
- ・洪水対策体制の整備・洪水ハザードマップの作成支援
- ・農業用ため池の改修及びハザードマップの作成支援
- ・避難行動要支援者対策の推進
- ・マイ避難の促進
- ・適切な避難行動の呼びかけ
- ・住民等への情報伝達体制の強化
- ・自主防災組織等の強化

関連事業

【参考】流域治水プロジェクトの位置づけ

阿武隈川 流域治水プロジェクト（R3.3とりまとめ）

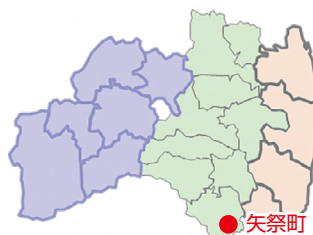
- 対象 : 国、県、流域自治体
- 河川対策 : 緊急治水対策プロジェクトに加え、当面の事業メニュー・事業費
- 流域対策 : ・雨水貯留・排水対策（下水道事業等）
- ソフト対策 : ・利水ダム等の事前放流による洪水調節可能容量の確保
・その他流域自治体の対策 など

阿武隈川 緊急治水対策プロジェクト（R2.1策定）

- 対象 : 国、県、沿川自治体（国管理区間）
- 河川対策 : R1～R10の10年間、1,840億円の整備（河道掘削、堤防・遊水地整備等）
- 流域対策 : ・減災型都市計画
- ソフト対策 : ・タイムライン等の防災体制
・水位計・カメラ等の設置による危機管理対策 など

矢祭町道(高地原橋)の災害復旧

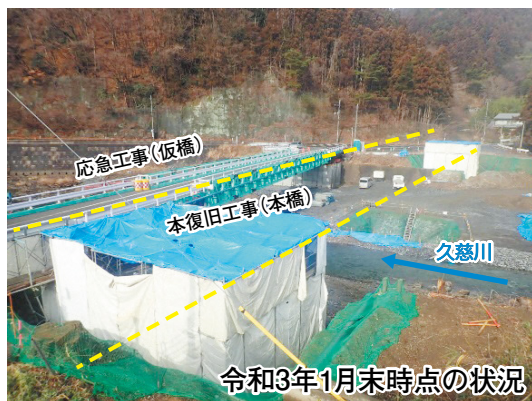
矢祭町道(高地原橋)は、被害が甚大で緊急性が高いことから、矢祭町と覚書を締結し、県が受託工事として復旧工事を進めております。



【工事の進捗】(令和3年2月末時点)

■下部工(橋台2基、橋脚1基)
進捗率83%

■上部工(工場製作着手)
進捗率13%



内水対策への対応

内水ハザードマップが未策定となっている自治体へ作成の重要性を周知し、他自治体の作成事例を提供するなどの技術的支援を行っています。

また、内水による浸水対策の事業計画がない自治体に向け資料提供や助言を行うと共に、市町村と連携して内水対策に関する勉強会などを開催し、先進事例の共有などを行っています。



内水対策に関する勉強会
(※R元年度は書面開催)



県内の内水ハザードマップ

建設業等関連団体との連携

復旧・復興連絡協議会

令和元年東日本台風の復旧工事を円滑に進めていくため、県(土木部、農林水産部)と関係する建設会社や市町村などと連絡調整するための会議で、本庁と各方部で開催しました。

会議では復旧工事に向けて、発注見通しや資材の使用見込み、施工体制の確保などが話し合われました。

<復旧・復興本庁連絡協議会>

| 開催方部 | 日時 |
|----------|---------------------|
| 本庁(第11回) | 令和元年12月26日 |
| 本庁(第12回) | 令和2年6月26日 (書面会議) |

<地方連絡協議会>

| 開催方部 | 日時 | 開催方部 | 日時 |
|--------|-----------|-------|-----------|
| 県北地方 | 令和2年4月30日 | 喜多方地方 | 令和2年5月14日 |
| 県中地方 | 令和2年5月7日 | 南会津地方 | 令和2年4月27日 |
| 県南地方 | 令和2年5月8日 | 相双地方 | 令和2年5月13日 |
| 会津若松地方 | 令和2年5月12日 | いわき地方 | 令和2年4月27日 |



本庁



県北地方



喜多方地方



相双地方

現場見学会

(一社)福島県建設業協会が主催となり、いわき市の夏井川・好間川改良事業の現場において、県内の建設関係学科の高校生を対象に現場見学会を開催し、県の担当者から事業概要の説明を行いました。

<令和2年度 令和元年東日本台風関連現場見学会>

| 実施月日 | 学校名 | 学科 | 人数 | 見学先 | 関係事務所名 |
|----------------|---------------|-------------|-----|-------------------|--------------|
| 令和2年 11月2日 | 平工業 高等学校 | 土木環境 工学科 | 36人 | 夏井川・好間川 改良復旧事業 | いわき 建設事務所 |
| 令和2年 11月13日 | 二本松工業 高等学校 | 都市シス テム科 | 41人 | | |



地域住民へのわかりやすい 情報発信

地域住民への説明

■住民説明会

相馬市の宇多川・小泉川の住民説明会については、各地区で合計21回開催しています。

いわき市の夏井川・好間川の住民説明については、地元区長を対象にした説明会に加え、周辺住民への周知するために、各戸へのチラシの配布を行う等地域のニーズに応じた取組を行っています。



宇多川・小泉川説明会
(相双建設事務所)



対象いわき市下平窪防災会
(いわき建設事務所)

■地元スーパーマーケットの協力による広報【いわき建設事務所】

いわき市内のマルト全24店舗、同市内のヨークベニマル全13店舗において、事業の進捗をお知らせし地域住民に安心感を持っていただくために、地区毎に作成したポスターを掲示し、事業の進捗により更新を行っています。

マルトはいわき市地域活性化包括連携協定、ヨークベニマルは福島県地域活性化包括連携協定に基づき協力をいただいております。



マルト(平窪店)



ヨークベニマル(新谷川瀬店)

「台風の際は当店内にも1mほどの浸水があり、再オープンに約2ヶ月を要した。来客は被災地区の住民が多いが、高齢者も多く、積極的にHPを見ることはほとんどないため復旧の進捗を不安がる声も聞いている。分かりやすいポスターを店内で目にできるのはいいことだと思う。」【マルト平窪店篠崎店長の声】

Webによる配信

■YouTubeの活用

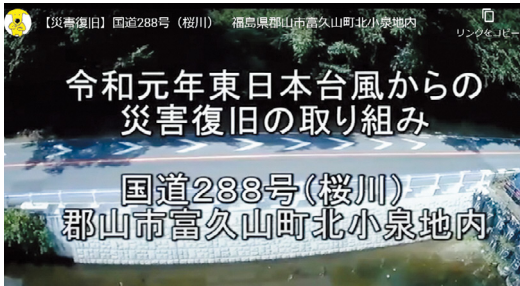
災害復旧工事をはじめとした事務所の取組を広く広報するため、職員がドローン等により撮影した映像を編集し、YouTubeを活用した広報に取り組んでいます。(ケンチューブ:県中建設事務所YouTube)

また、より多くの人に見てもらうために郡山市の広報誌等でも紹介していただいております。

谷田川水害対策工事を動画公開



県中建設事務所企画調査課 ☎935—1449



県中建設事務所では、大規模災害に備えた谷田川の水害対策工事(川幅を確保するための草木の伐採や土の撤去など)の様子をYouTubeで公開していますので、ぜひご覧ください。

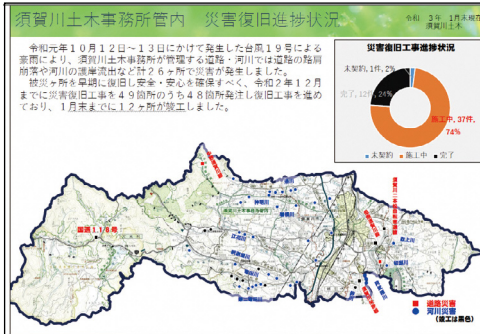


「広報こおりやま2021.3月号」より抜粋

ケンチューブは県中建設事務所HPから確認できます。⇒



■HPによる定期的な情報発信



2. 災害復旧事業の進捗状況について (相双建設事務所)

| 事務所名 | 工事 | 被災箇所数 A | 施工中 | | 完了率 | |
|---------|----|---------|-------|---------|-------|---------|
| | | | 箇所数 B | 率 C=B/A | 箇所数 D | 率 E=D/A |
| 相双建設事務所 | 小計 | 249 | 200 | 80% | 27 | 11% |
| | 河川 | 206 | 167 | 81% | 17 | 8% |
| | 砂防 | 11 | 8 | 73% | 1 | 9% |
| | 道路 | 32 | 25 | 78% | 9 | 28% |
| 富岡土木事務所 | 小計 | 136 | 136 | 100% | 38 | 28% |
| | 河川 | 98 | 98 | 100% | 27 | 28% |
| | 砂防 | 1 | 1 | 100% | 0 | 0% |
| | 道路 | 37 | 37 | 100% | 11 | 30% |
| 合計 | 計 | 385 | 336 | 87% | 65 | 17% |
| | 河川 | 304 | 265 | 87% | 44 | 14% |
| | 砂防 | 12 | 9 | 75% | 1 | 8% |
| | 道路 | 69 | 62 | 90% | 20 | 29% |

※ 完了済み箇所は、施工中の内数である。



県北浄化センターの被災について (第5報)

(県北流域下水道建設事務所)

国見町徳江地内にある県北浄化センターは、令和元年東日本台風降雨により被災し、従来の下水処理ができない状況にあります。センター周辺の皆様や下水道を利用している皆様には大変ご心配をおかけしております。

現在、令和3年度末の完全復旧に向けて全力で取り組んでおりますが、この間、段階的に下水処理機能を復旧しながら復旧工事を進めていく予定です。

皆様には下水処理機能が回復するまでの間、普段以上に節水を心がけるなど、生活排水の抑制にご協力をお願いいたします。

なお、県北浄化センターの現状と今後の対応については以下のとおりです。

(1) 現状 (経緯)

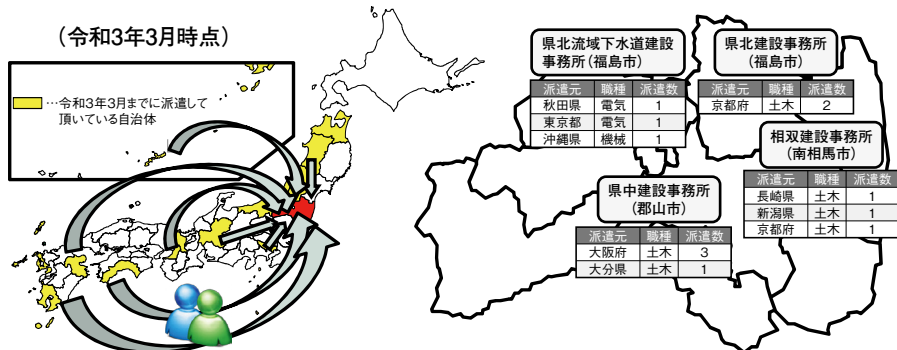
- 令和2年5月末まで、下水処理の質の向上、浄化センター内の下水の流出防止、阿智原川の水位上昇対策等を目的とした仮復旧を行ってまいりました。
- 令和2年11月中旬までに水処理施設の仮復旧や仮送風機機の増設を行い、搬送前の60%程度の下水処理能力を確保できることとなり、さらに下水処理の質を上げることが可能となりました。

(2) 今後の対応

- 仮復旧した水処理施設が確実に運転できるよう、日々のメンテナンスを十分にまいります。

自治法派遣職員の配置状況

全国知事会を通じて職員派遣要請を行い、応援職員を確保しました。
令和3年3月までに、1都2府10県から応援をいただいております。



自治法派遣職員の配置実績

| 事務所名 | 派遣自治体 | 期間 | 人数 | 事務所名 | 派遣自治体 | 期間 | 人数 |
|--------------|------------------|-------------------|-----|-------------------|----------|------------------|----|
| 県北建設事務所(福島市) | 高知県 | R1.12.7 ~ R2.3.31 | 1名 | 相双建設事務所(南相馬市) | 長崎県 | R2.1.1 ~ | 1名 |
| | 京都府 | R2.1.1 ~ R2.3.31 | 3名 | | 新潟県 | R2.1.14 ~ | 1名 |
| | | R2.8.1 ~ | 1名 | 京都府 | R2.8.1 ~ | 1名 | |
| | | R2.9.1 ~ | 1名 | いわき建設事務所(いわき市) | 鹿児島県 | R2.1.1 ~ R2.3.31 | 1名 |
| | 青森県 | R2.2.1 ~ R2.3.31 | 1名 | 県北流域下水道建設事務所(福島市) | 岐阜県 | R2.1.1 ~ R2.3.31 | 1名 |
| 山形県 | R2.2.1 ~ R2.3.31 | 1名 | 秋田県 | | R2.4.1 ~ | 1名 | |
| 県中建設事務所(郡山市) | 大阪府 | R1.11.1 ~ | 3名 | | 東京都 | R2.4.1 ~ | 1名 |
| | 大分県 | R2.4.1 ~ | 1名 | | 沖縄県 | R2.4.1 ~ | 1名 |

派遣継続中(令和3年3月時点)

本県の復日に応援いただいている派遣職員の皆さま

令和3年3月現在





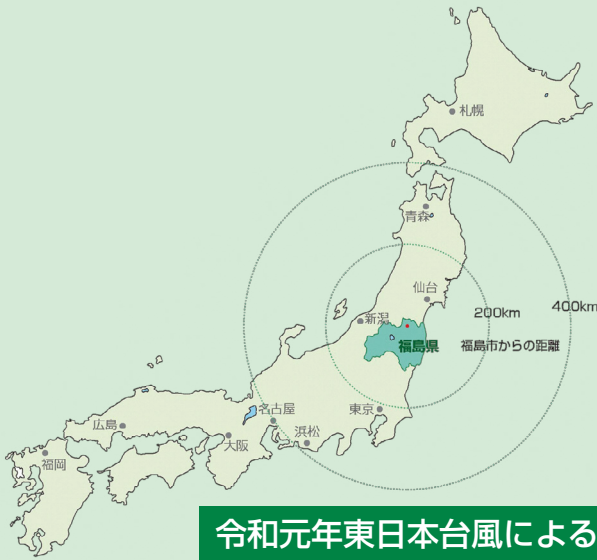
県中建設事務所
谷田川(郡山市)



相双建設事務所
事務所に於て(南相馬市)



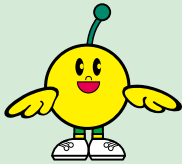
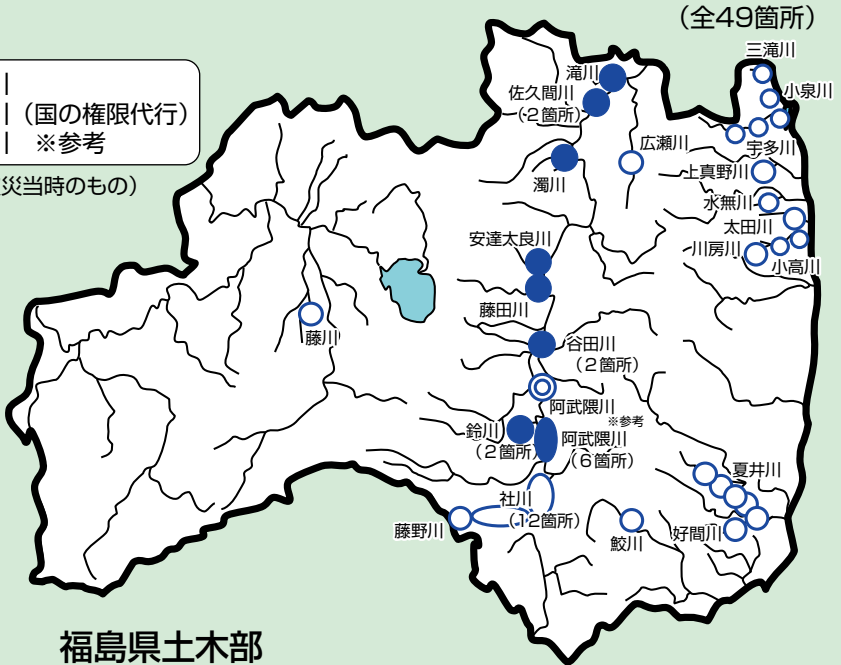
県北流域下水道建設事務所
事務所に於て(福島市)



令和元年東日本台風による県管理河川堤防の決壊箇所

- : 県管理河川
- : 県管理河川 (国の権限代行)
- ◎ : 国管理河川 ※参考

(※管理区分は被災当時のもの)



福島県シンボルキャラクター (キタン)

福島県土木部

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16 電話:024-521-7886

メールアドレス: dobokukikaku@pref.fukushima.lg.jp

■福島県土木部 令和元年東日本台風関連情報は、
土木企画課ホームページからご覧下さい。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025a/>



承認を得て複製している国土地理院発行の電子地形図(タイル)をさらに複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

2021年3月31日

